

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	健康・医療戦略の推進に必要な経費			担当部局庁	健康・医療戦略推進事務局		作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	健康・医療戦略推進事務局		参事官 大島 大			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	健康・医療戦略推進法(平成26年5月30日法律第48号)			関係する計画、通知等	健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定、令和2年3月27日第2期間議決定)等					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	健康長寿社会の実現に向け、健康・医療戦略に基づき、施策を集中的かつ計画的に推進するための検討に資することで、世界最高水準の技術を用いた医療の提供や、経済成長への寄与を目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	健康・医療に関する先端的研究開発及び新たな産業活動の創出等を通じて健康長寿社会を実現するため、課題等を分析・把握する調査を実施。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	35	35	35			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	35	35	35			
	執行額		0	0	31	-		-		
	執行率(%)		-	-	89%	-		-		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	89%	-		-		
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	35	35	-						
	計	35	35	-						
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	健康・医療に関する先端的研究開発及び新たな産業活動の創出等を通じて健康長寿社会を実現	調査件数	活動実績	件	-	-	3	-	-	
			当初見込み	件	-	-	2	2	2	
	算出根拠				単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
単位当たりコスト	調査費必要な経費(円) / 調査件数(本)			単位当たりコスト	円	-	-	11,666,667	17,500,000	
				計算式	円 / 本	-	-	35,000,000/3	35,000,000/2	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
								- 年度	- 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-									

		定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績						
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	本事業は、健康・医療に関する先端的研究開発や新たな産業活動の創出等を通じて健康長寿社会を実現するための課題等を分析・把握する調査であり、定量的な目標を設定することは困難であるが、本調査によって得られた成果は、今後の政策の立案等に活用する予定である。			第2期健康・医療戦略に定める2024年度末までのアウトカム目標の達成に向けた、今後の政策の立案等に資すること。 令和3年度においてはアウトカム目標の達成に向けた施策の検討に活用するため、新型コロナウイルス感染症に関する国内外の研究開発動向などの調査を行った。						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		調査研究の確実な実施	調査件数	実績	件	-	-	3	-	-	
				目標値	件	-	-	2	-	-	
達成度	%	-	-	150	-	-	-	-			
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策									
		施策	政策評価書 URL	-							
	生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-							
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-							
		該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善											
		項目	評価	評価に関する説明							
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国際競争力の高い関連産業の育成は国民に資するものであり、ニーズを反映したものである。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	健康・医療戦略の着実な推進を図る目的で行う、リスクの高い最先端の医療技術の実用化等に資する調査は国が実施することが適当である。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	当該事業は、健康・医療戦略の着実な推進のための施策であり、優先度の高い事業である。							
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札により適切な実施者を選定している。							
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	一部少額の調査については入札を行っていないが、複数の事業者から見積を徴取した上で適切な実施者の選定を行っている。							
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一般競争入札(総合評価方式)を実施し、複数の事業者の中から実施者の選定を行っている。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要なテーマについて調査を実施するとともに、収集するデータも必要最小限に絞って行っている。							
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-							
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	真に必要なテーマについて調査を実施するとともに、収集するデータも必要最小限に絞って行っている。							
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	当該事業で得られたデータは内部での検討用のみならず、外部有識者との施策討論等の根拠資料にも活用している。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	一般競争入札(総合評価方式)を実施し、複数の事業者の中から実施者の選定を行っている。							
活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	計画通りの調査を実施した。								
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	当該事業で得られたデータは内部での検討用のみならず、外部有識者との施策討論等の根拠資料にも活用している。								

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				○	<p>本事業は、令和2年度まで左記の内閣官房(事業名「健康・医療戦略の推進に必要な経費」)の一部として実施されていたもの。</p> <p>令和3年度以降、本事業においては健康・医療に関する先端的研究開発及び新たな産業活動の創出等を通じて健康長寿社会を実現するための、課題等を分析・把握する調査を行っている。</p> <p>左記の内閣官房における事業においては、成長戦略の推進にかかる国際展開の支援の推進等についての総合調整と、「アジア健康構想」や「アフリカ健康構想」の推進等に関する調査を行っている。</p>
	事業番号		事業名			
	2022	内閣官房	21	0007	健康・医療戦略の推進に必要な経費	
点検・改善結果	点検結果	当該事業を実施するには競争入札で事業者を選定し、コストと内容の両面から審査の上で実施者を決定している。また執行段階においても事業者から定期的に進捗状況などについて報告を受けながら効率的な事業実施を行っている。				
	改善の方向性	引き続き、調査テーマについては精査しつつ、また執行段階における適切な進捗状況の把握などに努め、効率的な事業の実施に努める。				
外部有識者の所見						
「調査をする」、しかし「終了予定なし」。シートにこの言葉があると、事業内容を細かく拝見したくなる。責任を感じるからである。第1に調査内容の質やボリュームと比べて、この金額は妥当かどうかを考える必要があり、また300万円と100万円が、調査コンサルタントの世界で妥当かどうか、これも気になる。第2に政策に反映できたかどうか考える必要がある。事業の有効性のところに書いてある文言だけでは信用できない。そもそも、内閣府は多くの調査をさまざまな会社に、外注に出しているが、これらの「調査」の質と量全体を一度、第三者に匿名で審査してもらう機会が必要かもしれない。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	有識者の所見を踏まえ、外部点検の実施の検討を含め、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	本事業においては、より有用な調査となるよう調査項目について精査するとともに、一般競争入札(総合評価方式)を実施して実施事業者を選定しており、金額の妥当性を担保するための取組を行っている。また、得られた調査結果については政策の方向性を検討するための外部有識者会議において基礎データに活用するなどしている。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年度	-					
平成24年度	新24-0001					
平成25年度	0007					
平成26年度	0006					
平成27年度	0008					
平成28年度	0008					
平成29年度	0008					
平成30年度	0007					
令和元年度	内閣官房	-	0007			
令和2年度	内閣官房		0007			
令和3年度	2021	府	新21	0004		

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	内閣府 31百万円					
	【一般競争入札(総合評価落札方式)】 A.アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社 30百万円		(重要疾患の治療、予防に有望なモダリティの研究開発状況の調査を実施。)			
	【随意契約(少額)】 B.ハッシュピーク株式会社 1百万円		(新型コロナウイルス感染症に関する国内外の研究開発動向についての調査を)			
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社			B.ハッシュピーク株式会社		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	諸謝金	調査謝金	30	諸謝金	調査謝金	1
	計		30	計		1

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社	1010401000530	重要疾患の治療、予防に有望なモダリティの研究開発状況の調査	30	一般競争契約(総合評価)	3	82.1%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	ハッシュピーク株式会社	6010801029495	新型コロナウイルス感染症に関する国内外の研究開発動向についての調査	1	随意契約(少額)	-	-	-